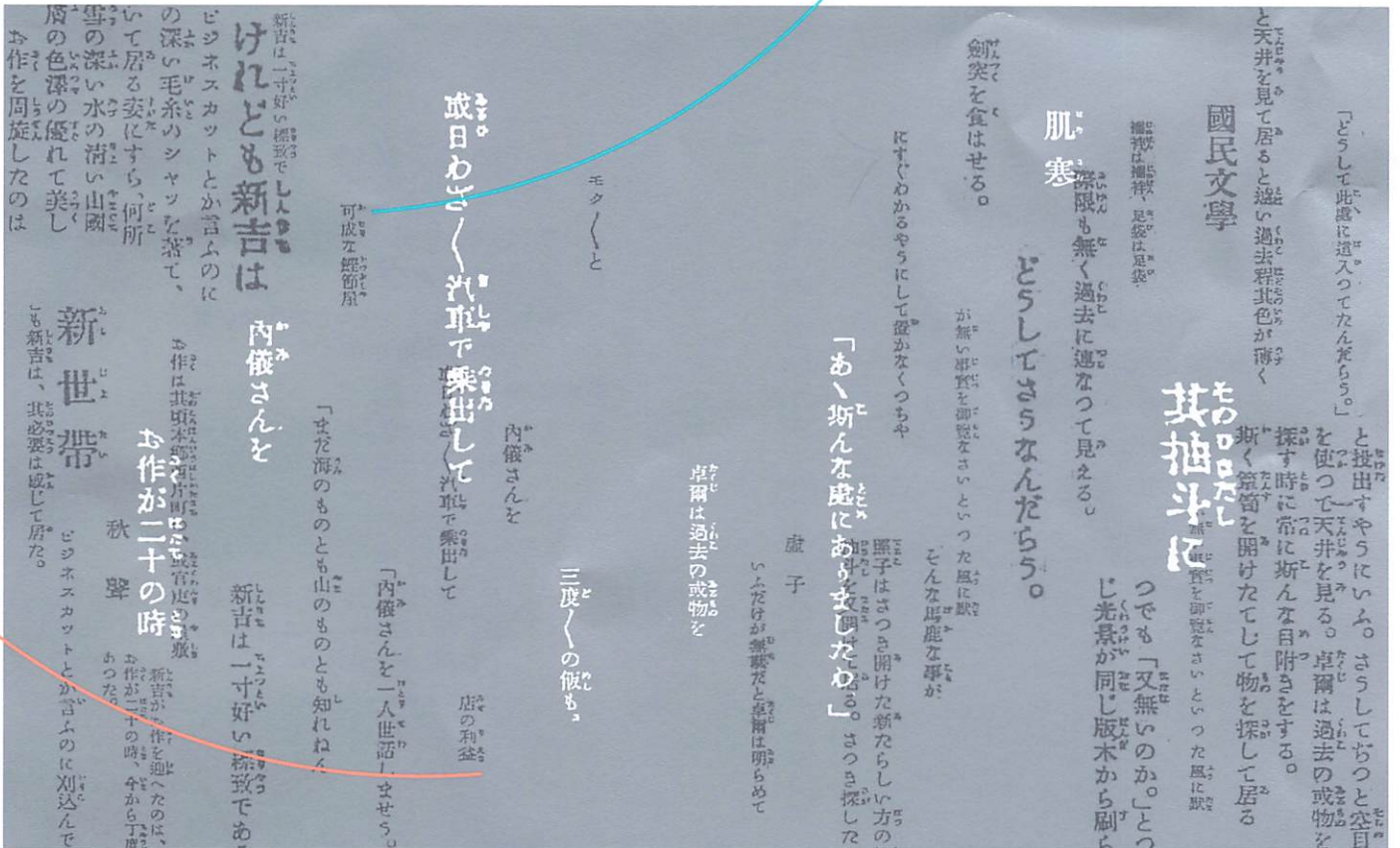


秋虚 聲子と

2024.

8.3(土)~11.4(月)
振休

※火曜定休（祝日の場合は翌平日）



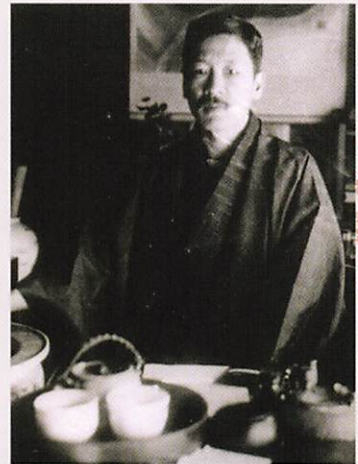
高浜虚子生誕150年記念企画展

虚子と秋聲

作家・徳田秋聲の自然主義の出発点に置かれる中編小説「新世帯」(明治41年)。本作が発表されたのは、この年「国民新聞」に入社した高浜虚子が、同紙上に初めて創設した文芸欄(「国民文学」)でした。虚子はその最初の掲載作として秋聲を選び、自ら秋聲宅を訪れ執筆を依頼したと言います。結果的に師・尾崎紅葉没後の秋聲の方向性を決定づける名編となったことで、この時のことは双方とも晩年まで繰り返し語る思い出深い一件となりました。

もとは俳句から出発した虚子自身も俳句を離れ、小説に接近していた時期であり、虚子が秋聲に期待し、秋聲が小説で応えたものとは――。

この企画展では、高浜虚子生誕150年を記念して、虚子と秋聲ふたりの文学的交流についてご紹介します。



国民文学
にすくむかるやうにして礙がなくつちや
「どうして此處に這入つてたんだらう。」

虚子
草爾は過去の或物を
肌寒

新世帯
本作が二十の時

新吉が本作を迎へたのは、新吉が十五、
お作が二十の時、午から丁度四年前の冬で
あつた。
「まだ海のものとも山のものとも知れねん
の深い花糸のシャヤを穿て、
いひかきおぼはれを別込んで
可成り細細の優れて美し
水の溜り三度くくの飯も」

左) 高浜虚子 (明治7年～昭和34年)
(虚子記念文学館蔵)
右) 徳田秋聲 (明治4年～昭和18年)

会期中イベント

金沢ナイトミュージアム朗読会 「大内旅宿」ほか(虚子原作小説)

日時: 9月22日(日・祝) 18時～19時半(17時半開場)
出演: 板倉 光隆(俳優・声優・ナレーター・演出家)
うえだ 星子(声優・ナレーター)
参加費: 1,000円
申込: 電話およびHP(Webフォーム)にて受付中

17～17時半は会場準備のため一時閉館します。
17時半以降はイベント参加者以外ご入館いただけません。

特別講演 「虚子と秋聲―俳人と小説家」

日程: 10月5日(土) 14時～16時(13時半開場)
講師: 岸本 尚毅(俳人)
会場: 金沢市文化ホール2階 大集会室
(金沢市高岡町15-1)
参加費: 無料
申込: 8月3日(土)より電話およびHP
(Webフォーム)にて受付開始

展示解説

日程: 8月10日(土)、9月7日(土)
時間: 11時～14時(各回40分程度)
参加費: 観覧料金のみ 申込: 不要

Tokuda Shusei Kinenkan Museum 徳田秋聲記念館

〒920-0831 石川県金沢市東山1丁目19番1号 TEL.076-251-4300・FAX.076-251-4301

開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
観覧料金 一般310円・65歳以上210円・高校生以下無料・団体(20名以上)260円

https://www.kanazawa-museum.jp/shusei/

